

## 里山保全

### 1 里山とは

里山とは、人の手が加えられて、維持されてきた雑木林（コナラ林）、アカマツ林、竹林、スギ林など里山林を中心に、人々の暮らしと深くかかわってきた農山村地域のこと。

里山林の他には、耕作地（水田、畑）、水辺（小川、ため池）、それに人の住む集落があり、4点セットで里山になる。全部、人の手が加えられ、人によって作られたもので原生の自然には見られない独特の景観をもっています。

様々な林や水辺など変化に富んだ自然環境が存在する里山には、それぞれの自然環境に適した多様な生き物（植物、動物）がみられ、長い間、自然と人の営みによって築かれてきた里山はそこに住む生き物と人間がうまく共生してきたところでもあります。

鈴鹿市南西部では、丘陵地の谷筋に農地が帯状に連なっており、典型的な里山の風景が展開しており、平成16年から18年にかけて実施された「鈴鹿市自然環境調査」においては、鳥類や昆虫類などで希少種が確認されるなど、動植物の生息・生育地となっています。



### 2 里山保全体験

鈴鹿市の南部丘陵地に位置する深谷公園は、昭和47年から平成9年3月までの25年余りにわたり、不燃ごみを対象とした「鈴鹿市一般廃棄物最終処分場」として埋立てを行っていた深谷処理場の跡地を整備し、平成18年に西側の8ヘクタールを一部供用し、平成21年3月に、東側の12.5haを開園し、併せて20.5haを全面開園しました。

この公園は、周辺の里山環境と調和しながら、園内には、多目的広場、自然観察園、お花見広場、芝生広場、遊具広場等を有し、市民の憩いの場所となっています。

斜面には、コナラ林、スギ林、竹林などの林が見られます。これらの林は50年程前までは薪炭林や農用林、建築用林など生産の場として利用されていましたが、今では、その目的を失って放置され、荒れたままの林となっています。

そこで、鈴鹿市の代表的な里山林の一つであるコナラ林をかつての明るい、多様な生き物の住むコナラ林に復元するために保全・施業計画を立て、計画に従った植生保全を実施することにしました。

平成22年度から開始したこの事業の活動記録は以下のとおりです。

### 第1回 平成22年4月24日（午前の部）

市役所本館 1203 会議室において、講師（桐生定巳さん（三重自然誌の会））から、かつての里山の姿、森林の移り変わりと伐採して再生するしくみ、手入れされなくなり荒れてしまった里山林の様子と姿を見られなくなった花についてお話しいただいたうえで、里山林を元気にする手法、今後行なう植生調査や間伐などの活動についての説明を行いました。



### 第1回 平成22年4月24日（午後の部）

同日午前の座学を踏まえ、午後には深谷公園に入り、現地の現況を観察したうえで、講師の指導のもと、10m×10mの方形区を2ヶ所とり、植生調査を行いました。



活動の中心となるコナラ林は、近年まで人の手が入っていたようで、ヒサカキやネズミモチなどの常緑樹は低木が多く、方形区の半分程度は日光が差し込んでおり、シユンランやコアジサイも見られました。

### 第2回 平成22年10月24日

4月に植生調査を行ったところを中心に、常緑樹の伐採を行いました。伐採した樹木は、深谷公園内でチップ化しています。



### 第3回 平成23年2月20日

昨年10月に間伐したところから範囲を広げて、常緑樹の伐採を行いました。伐採箇所は、さっぱりときれいになりました。



作業中



作業後

#### 第4回 平成23年7月10日（午前の部）

国府公民館において、講師（桐生定巳さん（三重自然誌の会））監修のもと作成した里山保全体験の施業計画「深谷公園における里山保全活用について」にもとづき、昨年4月に行った植生調査に重要生態系地域の自然環境調査のデータなどを加えた現存植生を踏まえ、地形などから、

①野生草花型林床（ササユリやキンラン、キキョウ、アキノキリンソウなどの花が見られるゾーン）、②野生花木型林床（ムラサキシキブやコバノガマズミ、カマツカなど秋に美しい実が見られるゾーン）、③雑木林型林床（落葉樹林のゾーン）の3つのタイプで構成する里山林に再生する施業計画などについて講義を受けました。



#### 第4回 平成23年7月10日（午後の部）

午前でレクチャーを受けた資料や植生図をもとに、深谷公園内を散策しながら、植生や希少な植物等の観察を行い、里山保全体験の施業区域では、施業計画図をもとに、3つのタイプの林床に管理するゾーン分けの確認や2月の間伐後の萌芽更新、希少種の育成状況などを観察しました。



#### 第5回 平成23年11月13日

昨年10月、今年2月に伐採したところは日光がよく入るようになっています。さらに範囲を広げて、常緑樹の伐採を行いました。今回は、お試しでチェーンソーを使って太いコナラ1本切ってみました。



#### 番外 平成23年12月12日

講師ほか数名で、しいたけの菌打ち用に、コナラを切りだし、原木を作りました。

## 第6回 平成24年1月29日（午前の部）伐採

4回目の伐採になります。午後にきのこの菌打ち体験をすることもあり、史上最多30名オーバーの里山ボランティアが集結。常緑樹を綺麗さっぱりと伐採しました。



## 第6回 平成24年1月29日（午後の部）シイタケの菌打ち体験

里山ボランティアさんたちのお楽しみとして、あらかじめ、昨年12月中にチェーンソーで間伐したコナラの大木を原木にシイタケの菌を打ちこみ、お持ち帰りしていただきました。いつも参加していただいている鈴鹿高校自然科学部の皆さんには若さを活かして、穴あけをしていただきました。



## 第7回 平成24年3月4日 自然観察と次年度の活動の確認

あいにくの冷たい雨。作業はとりやめ、公園内の散策路を歩き、作業後の活動地を観察したあと、来年度以降の活動について、確認をしました。

これまで常緑樹の伐採などを行ってきた所を徐々に広げながら、当地に自生していた野生の草花や花木が見られるように整備していくほか、来年度以降は隣接する竹林のタケノコ踏みでコナラ林への竹の侵入を防ぐ取り組みも加えていくことにしました。現在活動している所が、ある程度、整備されたら、日当たりが良く、より多様な野生植物が復活する可能性が高い多目的広場沿いの場所へ活動場所を移すことも計画として打ちだされました。

また、観察会を年2回ほど実施することも提案されました。

## 第8回 平成24年6月10日 自然観察会・初夏の深谷公園を訪ねて

里山ボランティアのメンバーに一般参加の方々も加わり、深谷公園の散策路に見られる草木の観察を行ないました。

お花見広場に咲くシロツメグサの花で植物の花の造りや生きるための戦略を学んだあと、アカマツ・クロマツやクリなど実のなる木の花や実など、シダ植物を観察し、その成長過程などを観察しました。



## 第9回 平成24年11月18日 自然観察会・秋の深谷公園の歩き方

冷たい風が吹く中でしたが、里山ボランティアメンバーのほか、子ども連れなど一般参加の方々も含め、多くの方々に参加いただき、深谷公園の散策路を歩きながら植物（木の実・草の実など）と野鳥の観察を行ないました。

初夏に花を中心に観察した、実のなる木のドングリなどの様子や、ひつつきむしの構造などを通して、植物が子孫をより広く・多く残すための戦略などについても学びました。また、野鳥の観察では、強風と冷え込みのため、あまり多くは見られませんが、ヒヨドリが盛んに鳴き、6種ほどの鳥の姿や声を楽しみました。



### 第10回 平成24年12月1日（午前の部）伐採

今回から新たにイオン鈴鹿チアーズクラブの子供たちが加わりました。講師の先生より里山保全活動に関するレクチャーをいただき、常緑樹の伐採を行いました。



### 第10回 平成24年12月1日（午後の部）伐採とシイタケの原木づくり

午後からは里山ボランティアさんたちはシイタケの原木づくりを、イオン鈴鹿チアーズクラブの子供たちは、午前に引き続き常緑樹の伐採を行いました。



### 第11回 平成25年1月27日（午前の部）伐採

今まで伐採してきた場所からさらに範囲を広げ伐採を行いました。午後からはシイタケの菌打ちをすることもあり、約100名の里山ボランティアさんたちが集まりました。伐採後は、かなり明るくなりました。



### 第11回 平成25年1月27日（午後の部）シイタケの菌打ち体験

子供たちも大人のボランティアさんたちに教えてもらいながら、菌打ち体験を楽しみました。打ち込んだボタ木は、お持ち帰りしていただきました。



### 第12回 平成25年2月23日 伐採

明るくなった里山林から春にかけてイワカガミ、イチヤクソウ、コアジサイなどの花が咲くように、それが植生している箇所をマーキングして、笹を刈ったり、落ち葉をかき集めました。



### 第13回 平成25年3月16日 放置竹林の講義、竹の伐採

国府公民館で講師の先生より昔は人々の生活に密着した有用な植物であったが、生活の変化とともに、需要が減り続け、放置竹林化した経緯などの講義をしていただいたあと、深谷公園内で竹の伐採を行いました。



#### 第14回 平成25年6月8日（午前の部）樹木の名札付け

イオン鈴鹿チアーズクラブの子供たちに里山保全活動の一環として、深谷公園内の散策路沿いにある樹木に名札付けを行っていただきました。この名札の材料はイオン鈴鹿チアーズクラブから寄贈していただきました。



#### 第14回 平成25年6月8日（午後の部）竹の駆除

3月に行った駆除に比べて、この時期では生えただばかりの竹を駆除できるため、簡単に駆除ができるということで、その作業を行う予定でしたが、この年はまだ生えておらず、結局成熟した竹を駆除することになりました。また、今回から八野就労支援センターの方々が参加してもらうようになり、支援センターのみなさんには、トラックへの積み込み作業を中心に行っていただきました。





### 第15回 平成25年10月12日 自然観察会・「この木何の木？」の散策路を歩いて

6月に名札をつけた散策路に「この木何の木？」という木製のプレートをつけて、「この木・何の木？」の散策ルートを作りました。その散策路を問題の答えを探しながら、葉の付き方や葉の形などの特徴を、実際に触れて観察を行いました。参加したイオン鈴鹿チーズクラブの子供たちは自然と樹木に触れ合い、楽しんで問題に挑戦していました。



### 第16回 平成25年11月9日 自然観察会・秋の深谷へ行こう

風もなく穏やかな秋晴れの中、里山ボランティアのメンバーと一般参加の方々に、深谷公園の「この木何の木？」の散策路で問題を解きながら、植物と野鳥の観察を行いました。

参加者からは「よく似た特徴の樹木があり、難しかった」と言う方もいらっしゃいました。また、野鳥の観察では11種類の鳥の姿や声を確認できました。



**第17回 平成25年12月14日 午前の部（笹刈り・竹の伐採）**

**午後の部（シイタケ原木作り）**

午前に笹刈りと竹を伐採する作業を行い、平行して、しいたけの原木に必要なコナラ  
の木の伐採を行いました。またイオンチアーズクラブの子供たちには、まき作りにつ  
いて学習していただきました。作成したまきについては、希望者に持ち帰っていただき、  
なかには家でまきストーブの原料とする方もいらっしゃいました。午後からは、シイタ  
ケの原木作りということでコナラの木を90cm程度に切る作業を行いました。



**第18回 平成26年1月25日 午前の部（常緑樹の間伐）**

**午後の部（春の七草と食べる野草試食会）**

午前に笹や以前伐採した常緑樹から萌芽している芽の刈り取りを行いました。

午後からは国府公民館で七草の試食会を行いました。七草に関しては、毒性の強い他  
種との区別が難しいため、講師の先生に事前に摘んできていただき、七草粥と、野草の  
天ぷらとして、おいしくいただきました。



**第19回 平成26年2月22日 午前の部（笹下草刈り・シイタケの原木の穴あけ）  
午後の部（シイタケの菌打ち）**

午前中は、笹などの下草を刈り取りする班とシイタケの原木に穴をあける班に分かれて、それぞれの作業を行いました。

午後からは用意した原木にシイタケの菌打ちを行い、菌打ちした原木は参加者に持って帰っていただき、余りは、深谷公園で里山ボランティアの方々に管理をしていただくこととなりました。



**第20回 平成26年5月31日 午前の部（里山観察会～初夏のどんぐりの木に咲く花～）  
午後の部（木にかける名札の作成と設置・ササユリの保全）**

午前中は、公園内で、どんぐりのなる木とササユリの観察を行いました。イオンチアーズクラブの子供達も参加いただいたことで、約70名もの参加者がいらっしゃいました。散策路を歩きながら、講師の先生から植物の説明をいただき、楽しく観察を行いました。

午後からは、里山ボランティアの方々に、ササユリを保護していることが一目で分かるように、ササユリに竹とビニールをとりつけました。またイオンチアーズクラブの子供たちには、名札プレートに木の名前を書いてもらい、書いた名前の木にプレートを設置しました。

今回の作業でササユリが約50株確認できました。



名札付け



ササユリ保護

**第 21 回 平成 26 年 12 月 13 日 午前の部（下草刈り・竹の伐採・シイタケ原木作り）  
午後の部（下草刈り）**

午前に下草（笹）刈り作業を行い、並行して、シイタケの原木に必要なコナラの木の伐採を行いました。シイタケの原木は大きさも太さもばらばらに 150 本ほど用意できました。

午後からは、CNS さんが取材に来られ、元気に下草刈りをしている姿を撮影していただきました。



**第 22 回 平成 27 年 1 月 25 日 午前の部（コナラの木の伐採，竹の切断，下草刈り）  
午後の部（国府公民館で食べられる野草の試食会）**

午前中は、笹（竹）や下草を刈り取りました。また、料理が得意な方には、国府公民館で試食会用の料理の下ごしらえをお願いしました。

午後からは、国府公民館で野草の試食会を行い、野草をお粥と天ぷらとしておいしくいただきました。おいしいので、食べ過ぎてしまいそうですが、野草は毒素を持っていて食べ過ぎるとおなかをこわすことがあります。参加者の中には、つい食べ過ぎてしまい、講師の先生から注意を促される方もいらっしゃいました。



**第 23 回 平成 27 年 2 月 21 日 午前の部（下草刈り，コナラの伐採，シイタケ原木の穴あけ）  
午後の部（シイタケの菌打ち，竹の伐採）**

午前中は、笹などの下草を刈り取りする班とシイタケの原木に穴をあける班，コナラを伐採する班に分かれそれぞれの作業を行いました。

午後からは、用意した原木にシイタケの菌打ちを行う班と竹の伐採を行う班に分かれて活動をおこないました。菌打ちした原木については、昨年度は余ってしまいましたが、本年度は用意していた原木 150 本すべて持って帰っていただきました。



## 第24回 平成27年12月5日 下草刈り・竹の伐採・シイタケ原木作り

今回から、大日本住友製薬株式会社さんが、10周年記念事業ということで、里山ボランティアとして参加していただくこととなり、総勢100名弱の参加者がいらっしゃいました。

活動としては、下草刈りや間伐を行い、シイタケの原木用として150本ほどになるように間伐したコナラの木を玉切りにしました。これから、第三回里山保全活動にてシイタケの菌打ちを行うまでの約2ヶ月間、寒い冬空の下、乾燥させることとなります。



## 第25回 平成28年1月23日 午前の部（間伐，下草刈り）

### 午後の部（食べられる野草の試食会）

午前中は、間伐と下草刈りを行い、また、料理が得意な方には、午後からの試食会用の料理の下ごしらえをお願いしました。活動を昼前に終了し、午後からの会場に移動。

午後からの試食会は、「食材集めが大変だった」と講師の方がおっしゃるとおり、今までの試食会の中で最も多い、80名弱の参加者がいらっしゃいました。また、会場についても、昨年度までお借りしていた国府公民館では、入りきらないとのことで、青少年センターをお借りして、行うこととなりました。

普段あまり食べることのない野草を、皆さん楽しんで食べていただきました。



## 第26回 平成28年2月20日 シイタケの菌打ち

当日は、残念ながら雨天であったため、下草刈りや間伐といった活動は行わず、午後からの予定であったシイタケの菌打ちのみ行うこととなりました。

参加していただいた方々は、雨にも負けず、午前中にすべての原木に菌打ちを完了され、完成したシイタケの原木を持って帰っていただきました。また、余ってしまった原木は、深谷公園内に設置し、里山ボランティアの方々に管理をお願いしました。



### 第27回 平成28年12月10日 下草刈り・間伐・シイタケの原木作り

今年度から株式会社日本陸送様にも協力していただき、総勢41名での活動となりました。

下草刈り・間伐を中心に行い、並行して、シイタケの菌打ち用の原木の準備も行いました。成果としては、軽トラック一杯分の枯れ木を清掃センターへ搬入しました。



### 第28回 平成29年1月28日 下草刈り・間伐・食べられる野草の試食会

午前中は、深谷公園で下草刈りと間伐を行いました。

午後からは三重県立青少年センターに移動し、野草の天ぷら・七草粥を堪能しました。試食会の後に、講師から食べられる野草についての説明や、毒のある野草もあるため、自身で野草をとって食べないように注意がありました。



### 第29回 平成29年2月11日 下草刈り・シイタケの菌打ち

前日が悪天候であったため、下草刈りを無理のない範囲で行い、その後、原木にシイタケの菌打ちを行いました。約150本用意していた原木は、すべて参加者の方へ持って帰っていただきました。菌打ちが終わった後に、講師から原木の保管方法を説明していただきました。うまく管理すれば、翌年の秋頃から肉厚の美味しいシイタケが収穫できるそうです。

